

平成 22 年 1 月 14 日  
教育委員会会議室（秀栄ビル 2 階）

# 平成 22 年第 1 回 立川市教育委員会定例会

立川市教育委員会



## 案 件

### 1 議案

( 1 ) 議案第 1 号 平成 2 2 年度学校教育の指針について

### 2 協議

( 1 ) 公共施設保全計画について

### 3 報告

( 1 ) 平成 2 2 年度立川市教育委員会の学校訪問について

( 2 ) 新型インフルエンザへの対応について

### 4 その他

平成22年第1回立川市教育委員会定例会議事日程

平成22年1月14日  
教育委員会会議室

- 1 議案
  - (1) 議案第1号 平成22年度学校教育の指針について
  
- 2 協議
  - (1) 公共施設保全計画について
  
- 3 報告
  - (1) 平成22年度立川市教育委員会の学校訪問について
  - (2) 新型インフルエンザへの対応について
  
- 4 その他

---

開会の辞

中村委員長 平成22年第1回立川市教育委員会定例会を開会いたします。

署名委員に田中委員、お願いいたします。よろしいでしょうか。

田中委員 はい。

中村委員長 よろしくお願いたします。

本日は、議案1件、協議1件、報告2件、その他は、議事進行過程で確認いたします。よろしくお願したいと思ます。

---

議 案

(1) 議案第1号 平成22年度学校教育の指針について

中村委員長 それでは、議案に入っていきます。

議案第1号、平成22年度学校教育の指針についてを議題といたしますので、事務局よりご提案をお願いいたします。澤教育長、お願いいたします。

澤教育長 本案につきましては、12月10日の教育委員会で協議いただきましたもので、これは平成22年度の教育課程編成に向けて学校教育の指針について改訂するものであります。本日は協議内容を踏まえて、議題として提案するものであります。

中村委員長 それでは、詳しい内容説明について、樋口指導課長、お願いいたします。

樋口指導課長 それでは、お手元の平成22年度の学校教育の指針について、ご覧いただきたいと思ます。

ご意見いろいろ賜りまして、それを入れ込んだものがこの下線ポップ体というものでございます。ゴシック体の部分は20年度から21年度で変更した内容でございます。

まず、「確かな力」の部分では、1のア、確かな力を育成するための特色ある教育課程の編成、この中で土曜日の教育課程に位置づいた授業を実施する学校もござます。それから、長期休業日等という文言をそこに入れ、校長の経営の中で弾力的で特色ある教育課程編成というものにさせていただきました。

それからエでございますけれども、オン・ザ・ジョブトレーニングということが教員の資質向上で、今、東京都教育委員会からも非常にこの意図的・計画的に実施ということを言われております。意図的という言葉をごに入れさせていただきます。

それからカでございますけれども、幼・保・小・中の一貫した教育活動の充実、そして個別の学習支援を把握するとともにという、この幼・保・小連携の部分、文言を入れ込ませていただいております。

それからキ、健康づくりと学習の基盤づくりの充実の部分では、健康増進を図り体力を向上させるという、こういうような文言を入れさせていただきました。

2番の「やさしい心」、2アでございますが、来年度は人権教育推進3年目に入ると

ころで、小中連携したという言葉をごに入れさせていただきました。

また、イの部分でございますけれども、問題行動の早期発見・早期対応の中には、組織的かつ継続的な指導の充実という文言をごに入れさせていただきます。

3番の「個を輝かせ」、よさを伸ばし、個を輝かせる教育の充実のアでは、本年度から活用しております登校支援員、あるいは個別適応計画書の作成等という、本年度から実施しております内容も入れてございます。

イの国際理解教育の推進の部分では、多文化共生への理解というような文言をごに入れさせていただきます。

4番の「社会のために」の部分でございますけれども、アの家庭や地域と協力しての社会性の育成では、規範意識を醸成しという言葉。

そしてイでは、環境学習から環境教育、ものづくり、そういうものを充実させという言葉をごに入れさせていただきます。

以上、ご意見をいただきましたところでの修正点を含めまして、平成22年度の学校教育の指針のご説明をさせていただきます。

以上です。

中村委員長 ありがとうございます。

ただいま事務局から提案がありました議案第1号は、澤教育長からもありましたけれども、昨年の第23回の定例会の協議として、改訂の基本的な方向性を検討した結果が生かされ、その結果が先ほど説明がありました下線の部分で改善されて議案として提案されたものです。したがって、第23回の定例会で協議した改正内容に対して、ご質問あるいはご意見等ありましたらお願いしたいと思います。いかがですか。

この第23回の意見をかなり反映させたものの、おもなところをご説明されたところがございます。キーワードも幾つか入っていると思います。今後の一貫教育とかOJT等のご説明があったところがございます。皆さんから出されたご意見も反映されていると思いますが、特に意見というよりも、どちらかという質問等で何かあるでしょうか。

はい、古岡委員。

古岡委員 よくできていらっしゃると思いますけれども、我々学会誌などでよく出てくるんですけれども、先ほど委員長がおっしゃられたキーワードですね。キーワードを4個とか5個ぐらいピックアップしまして、前文の次に入れますと、とてもいいと思います。

中村委員長 ありがとうございます。

感想で結構です。田中委員、お願いいたします。

田中委員 それでは、平成22年度学校教育の指針の策定にあたって、新教育課程、これの趣旨を十分生かして策定されておりますので、本当に樋口指導課長はじめ関係機関の皆様には、心から感謝を申し上げます。

そのうえで今後大事なことは、平成22年度の変更された点、それを各学校の校長先生の学校経営方針、それに十分反映されて、それを受けて広く質の高い教育が児童生徒はじめ市民

に提供するようお願いしたいと思います。

なお、この中で出ています3枚目ですか「社会のために」というところ、そこの中の大きな4番、生き方を考え、社会のために役立つとする意識をはぐくむ教育の充実とありますね。そのアイウエですが、やはり21年度の各学校の自己評価や、学校関係者による評価、それが22年度の学校改善に十分生かせるよう、さらに教育成果が上げられるようお願いいたします。

中村委員長 これを実施するにあたってのご要望という形で感想というか、ご意見をいただきました。ありがとうございました。

ほかございますか。よろしいですか。

〔「はい」との声あり〕

中村委員長 それでは議案第1号、平成22年度学校教育の指針についてをお諮りいたします。提案のとおり承認することに異議はございませんでしょうか。

〔「異議なし」との声あり〕

中村委員長 では、異議なしと認めまして議案第1号、平成22年度学校教育の指針については承認されました。

田中委員からもありましたけれども、学校への周知などについてはよろしくお願いしたいと思います。

それでは、議案第1号、平成22年度学校教育の指針の議案を終了いたします。

---

## 協 議

### (1) 公共施設保全計画について

中村委員長 続きまして協議に移っていきたいと思います。

協議(1)公共施設保全計画についてを協議いたしますので、事務局より提案説明をお願いしたいと思います。小林教育総務課長、お願いいたします。

小林教育総務課長 それでは、公共施設保全計画について、ご説明申し上げます。

資料をおつけいたしました。現在本市では、市保有の公共施設について、将来に向けての計画的な維持保全を軸とした公共施設保全計画(仮称)の策定作業を、庁内で検討委員会を組織し進めてございます。

お手元にお配りした資料は、昨年12月の総務委員会で、所管にございます行政管理部施設課が報告した中間報告の内容の抜粋でございます。内容は資料の1、2枚目のまとめと資料1のとおりでございますが、ポイントを幾つか申し上げますと、まず、市の公共施設は築30年以上経過したものが約46%にのぼること、公共施設全体の内、小中学校が全体の50%であること、そして小中学校は29校中28校が築30年以上経過をしていること、これら学校施設も含めまして、市の公共施設の施設修繕費用は、今後30年で約300億円程度費用がかかるということ。

したがってこれらことから、改修箇所を絞り、優先度を決め、国等の補助金等で

る限り活用いたしまして、施設の延命化を図る必要があることなどが報告されております。

本計画につきましては、さらに庁内検討を進めまして、今後の市の施設保全のあり方を計画づけていく予定としておりますが、延べ床だけで見てみましても、学校施設、体育施設、学習館など、市の施設の全体の約6割が教育委員会所管の施設となりますので、教育委員会といたしましても、この計画の検討状況については、十二分注視していくとともに、必要に応じ今後も意見を述べ、計画に反映していただくよう働きかけていきたいと考えております。

説明は以上でございます。ご協議よろしくお願いたします。

中村委員長 ありがとうございます。

今、提案にありましたとおり、市長部局でこういった中間まとめでございますが、教育委員会としてあるいは教育委員の視点から、その計画に反映させていくという視点からご意見を賜われればと思いますので、ご意見とか質問等ございましたらお願いしたいと思います。

澤教育長。

澤教育長 裏面の(3)の保全の優先順位付けのところを見ていただきたいのですが、その番です。これは国・東京都からの施設改修に伴う交付金の活用ということで、特に小中学校については文科省の補助金、交付金を活用していこうという方針なのですが、現在、事業仕分けからスタートした今の中では、この辺のことはまだ見えない部分がありまして、ただ、国も耐震補強については特化していこうという方針はあるようですけれども、改修のところまで手が届くのかどうかというのは、これは我々も注視をしていかないといけないかなと思っております。

中村委員長 耐震補強、耐震化の取り組みについては、1995年1月17日に発生した阪神淡路大震災から15年がちょうど経つわけですけれども、立川市の場合は、全国に先駆けてといっても当たり前のことでしょうか、その文章に書いてあるとおり、もうほとんど平成22年度で終わっているわけですけれども、それ以外の保全の順位について、特に国の方向がまだ見えない等の説明がございましたが、ほか、市長部局に教育委員会の視点から反映させていただきたいことについて、ご意見等ございましたらお願いしたいと思います。

宮田委員、お願いたします。

宮田委員 市内の公共施設の延べ床面積の50%が小中学校であるということを知りまして、改めて学校が公共施設として、社会教育力向上のためにも役割を担う生活があるんだなということがわかりましたし、そう考えます。

そうした私の考えのうえからも、施設保全の視点として学校施設またその他の公共施設が福祉性能や環境性能を加味していくということは大事なことだというふうに思います。こちらの3番の(2)の保全の視点にも記されておりますので、大変そのあたり、大切な方向なのではないかと。改めて公共施設が本来持っている教育的な機能に結びつくのではないかと。予算も非常に少ない中、そういう方向を見出しながらやることは大変なことかと思いますが、是非そういうことを忘れずにお願したいというふうに思います。

中村委員長 貴重なご意見ありがとうございました。



50%以上というのは物理的な面だけではなくて、学校教育以外に果す役目も大きいというご意見と、学校施設が持つ施設保全の視点というのは大事な視点で、これは逆に教育内容にも反映されるという点でも大事という、そういう意味のご意見も含んでいたと思いますので、この点を今後、ここに書いてあることですが、是非反映させていただきたいということ、強調があったと思います。

ほかございますか。古岡委員、お願いいたします。

古岡委員 先年の中国の四川省の地震でも、小学校の校舎倒壊による犠牲者が一番多かったということも参考にして、今後の計画を立てていかれたらいかがかと思ひます。

中村委員長 ありがとうございます。日本だけではなくて、他国の例も参考にしてというご意見でした。

田中委員、お願いいたします。

田中委員 立川市公共施設保全計画策定の中間まとめ、大変ありがとうございます。特に専門家の目から、裏面にあります施設保全の方向性として、予防保全、施設保全の視点、保全の優先順位付け、これらを含めてまとめていただいたのですが、これが今後やはり第3次基本計画の中にも位置づけされていくことをお願いしたいと同時に、昨年、けやき台小学校の壁の崩落がありましたね。あれについては迅速に対応していただいて、本当にありがたいなと思ひます。今後とも学校、こういった公共施設の保全にしっかり取り組んでいただくようお願いしたいと思ひます。

中村委員長 ありがとうございます。

特に老朽化という劣化の調査ということがありましたけれども、施設改修費用は30年間で約300億ということですが、ただこれは待ってられない問題もあって、予算が伴う問題ですが、やはり30年以上経っていることに対してどうするかということも大事なことでないかと思ひます。この点についてもよろしくお願いしたいと思ひます。

ほか、ございますか。途中経過、変化があることがあったらまた報告、あるいは協議でお願いしたいと思ひますが、ほか、よろしいでしょうか。

〔「はい」との声あり〕

中村委員長 では、公共施設保全計画についての協議を終了いたしますので、今出てきましたご意見を、計画を進めていくうえで是非反映させていただければと思ひます。

また、その後、計画の進行状況に応じて報告または協議等でのせていただければと思ひます。公共施設保全計画についての協議を終了いたします。

---

## 報 告

(1)平成22年度立川市教育委員会の学校訪問について

中村委員長 続きまして報告に入っていきます。

報告(1)平成22年度立川市教育委員会の学校訪問についての報告を事務局よりお願いしたいと思います。近藤教育部長、お願いいたします。

近藤教育部長 それでは、平成22年度立川市教育委員会の学校訪問について、ご説明させていただきます。

1、学校訪問の趣旨は、立川市立小学校・中学校の教育の現状及び教育指導実践上の諸問題を把握し、その解決や改善を援助するとともに、児童・生徒の指導に関する日常の諸問題について、隔意のない協議懇談によって、学校との交流を図り、立川市の学校教育の充実・発展に資するということでもあります。

そこで2、学校訪問の形態でございますが、以下の5つでございます。

(1)の教育委員の訪問でございますが、学校教育全般の理解のために、教育委員、教育長等が、授業参観や施設等を視察するもので、平成22年度からにおきましては、教育総務課が担当いたしまして、学校側とスケジュールの調整等をさせていただきます。なお、現在各学校に22年度の学校訪問の希望を調査しておりますので、その結果も参考にさせていただきながら、何を目的にどの学校を訪問するかなど、教育委員の訪問の形態等につきましては、22年度の当初に、教育委員皆さんで検討して決めていく予定で考えておりますので、よろしくお願いたします。

(2)指導課訪問につきましては、今年度同様、授業参観の他、校内研修会等を設定し、学校にかかわる課題解決や教員の資質向上に資するよう、指導課長、統括指導主事、指導主事等が中心となりまして訪問をまいります。

(3)の研究推進指導主事訪問につきましては、校内研究を推進するため、統括指導主事、指導主事が訪問いたしまして、研究推進担当教員等への指導・助言を行うもので、21年度におきましては、夏休みに全学校へ訪問をしております。

それ以外に(4)の聞き取り訪問、そして(5)東京都教育委員会の訪問、合わせまして5つの学校訪問を行いながら学校を支援してまいりたいと考えておりますので、よろしくお願いたします。

以上です。

中村委員長 ありがとうございます。質問あるいはご意見等ございますでしょうか。

宮田委員、お願いたします。

宮田委員 この教育委員の訪問ですけれども、22年度、訪問が楽しみかなというふうに思います。この辺の体制を整えていただいたんだなということで、大変うれしく思います。ありがとうございます。

中村委員長 わかりました。

従来、機能と名称が多少ごっちゃになっていたのを、名称と機能とをきちんと分けしたということだと思います。近藤教育部長から説明がありましたように、教育訪問のあり方等については、また我々で勉強会で少し煮詰めていきたいと思います。

そうすると、いわゆる報告でございまして、こういう枠組みで進めていくという報告がございましたが、ほか、いかがですか。よろしいですか。

〔「はい」との声あり〕

中村委員長 では、我々に対する課題もあったと思います。特にこの訪問というのは教育委員の役目を果たすためにも非常に大事だと思いますので、今後、あり方について煮詰めていきたいと思いますので、こういう方向で進めていただくよう、また日程調整等ございますので、よろしくお願ひしたいと思ひます。

では、平成 22 年度立川市教育委員会の学校訪問についての報告を終了いたします。

---

## 報 告

### ( 2 ) 新型インフルエンザへの対応について

中村委員長 続きまして報告(2)新型インフルエンザへの対応について、報告を事務局よりお願ひいたします。岡部学務課長、お願ひいたします。

岡部学務課長 それでは、新型インフルエンザへの対応についてご報告いたします。

昨年の後半あたりから、徐々に患者数あるいは感染者数あるいは学級閉鎖数とも減少する傾向が見られたのですが、冬休み明け以後、まだ若干のインフルエンザにかかって欠席する児童生徒は見られますが、学級閉鎖等は発生しておりません。

なお参考のために、現在の状況と、昨年夏休み明け以降、年末までの欠席者数あるいは学級閉鎖等のまとめと、それをグラフにしたものをお手元にお配りしてございます。

報告は以上です。

中村委員長 ありがとうございます。

古岡委員、お願ひいたします。

古岡委員 追加ですけれども、きょうの新聞ですけれども、東京都は 13 日、都内の医療機関でインフルエンザ患者数が平均 5.51 人まで減ったために、インフルエンザ流行警報を解除しました。都は流行が終了したかどうかはしばらく患者数の推移をみないと油断できない。油断せず警戒は必要だと言っていますけれども、一応終息に近づいていると思ひます。

中村委員長 ありがとうございます。今補足がありましたとおり、昨年の 10 月 28 日以来、2 ヶ月半ぶりに警報が解除されたという説明がございました。

ほか、ございますか。田中委員、お願ひいたします。

田中委員 古岡委員にお聞きしたいのですが、今後季節性のインフルエンザ、これについて現状というか状況は、医師会のほうからは情報としてありますか。

中村委員長 古岡委員、お願ひいたします。

古岡委員 お正月前からいろいろマスコミとかも言っていると思うんですけれども、この新型インフルエンザのほうは呼吸器官などの症状が強かったことで、今までの季節性のインフルエンザが鳴りをひそめています。今の報告にもございましたように、新型だけでなく季節型のインフルエンザで学級閉鎖をしているところもないですし、今のところは季節性インフルエンザは影をひそめている状態です。

中村委員長 よろしいですか。

田中委員 はい。

中村委員長 質問に対して明快なお答えをいただきました。ほか、ございますか。

〔「ありません」との声あり〕

中村委員長 やっと下火でも安心ができないと思います。これまでも報告をいただき、臨時の教育委員会も開催したということがございましたが、安心はできませんけれども、今後もそういった継続的な対応についてはよろしくお願ひしたいと思います。

報告、新型インフルエンザへの対応については終了いたします。

---

#### その他

中村委員長 その他はございますか。

小林教育総務課長、お願ひいたします。

小林教育総務課長 本日4時から、市長応接室におきまして、地教行法の第29条に基づきまして、平成22年度予算案に対する市長の教育委員会の意見聴取を予定してございますので、ご出席方よろしくお願ひいたします。

中村委員長 皆さん、きょうは地方教育行政の組織及び運営に関する規則の第29条に基づきまして、予算についての会議の出席をよろしくお願ひしたいと思います。

ほか、ございますかその他は。

〔「ありません」との声あり〕

---

#### 閉会の辞

中村委員長 それでは、平成22年第1回立川市教育委員会定例会をこれにて閉会いたします。ありがとうございました。

次回、平成22年第2回立川市教育委員会定例会は1月29日、13時30分、金曜日に開催いたします。出席方よろしくお願ひしたいと思います。

午後 1時56分閉会

署名委員

.....

委員長